

報告事項 1. 2016年度事業報告

I 会員の異動状況

(2017年3月31日)

1. 会員の異動状況	前年度末	入会・就任	退 会	物故者	現在数
(1)正会員	25,989 名	769 名	646 名	47 名	26,065 名
(1の内) 名誉会員	39 名	0 名	0 名	2 名	37 名
(1の内) 特別会員	49 名	1 名	0 名	3 名	47 名
(1の内) 国際名誉会員	38 名	3 名	0 名	0 名	41 名
(2)準会員	476 名	146 名	112 名	0 名	510 名
(3)賛助会員(法人)	64 名	2 名	7 名	—	59 名

2. 役員・職員の異動	前年度末	入会・就任	退 会	物故者	現在数
(1) 理 事	30 名	30 名	30 名	0 名	30 名
(2) 監 事	2 名	2 名	2 名	0 名	2 名
(3) 幹 事	22 名	19 名	22 名	0 名	19 名
(4) 社 員	283 名	10 名	10 名	0 名	283 名
(5) 事務局職員	21 名	0 名	0 名	0 名	21 名

3. 国際名誉会員

Piero Anversa (USA)	Tsui-Lieh Hsu (Taiwan)	John Ross Jr (USA)
Jong-Hoa Bae (Korea)	David T Kelly (Australia)	Christine E. Seidman (USA)
Eugene Braunwald (USA)	Sam-Soo Kim (Korea)	Patrick W. Serruys (Netherlands)
A. John Camm (UK)	Spencer B. King, III (USA)	Pravin M. Shah (USA)
Jay N. Cohn (USA)	Michel Komajda (France)	Shahryar A Sheikh (Pakistan)
Mark A. Creager (USA)	Peter Libby (USA)	Sidney C. Smith, Jr (USA)
Anthony N. DeMaria (USA)	Thomas F. Luscher (Switzerland)	Karl Swedberg (Sweden)
Victor J. Dzau (USA)	Giuseppe Mancina (Italy)	A. Jamil Tajik (USA)
Murray Esler (Australia)	William John McKenna (UK)	Stephen F. Vatner (USA)
Harvey Feigenbaum (USA)	Steven E. Nissen (USA)	Finn Waagstein (Sweden)
Roberto Ferrari (Italy)	Ock-Kyu Park (KOREA)	James T Willerson III (USA)
Kim Fox (UK)	Seung-Jung Park (Korea)	Huo Yong (China)
Valentin Fuster (USA)	Young-Bae Park (Korea)	Salim Yusuf (USA)
Peter Ganz (USA)	Fausto J. Pinto (Portugal)	

4. 物故会員(敬称略)

(1) 名誉会員	飯村 攻	横山 光宏						
(2) 特別会員	有田 眞	塩川 優一	関口 守衛					
(3) 一般会員	赤塚 宣治	小澤 興	佐藤 紘二	塔間 陽一	三木 成仁			
	池田 大介	小澤 俊	佐藤 菅宏	徳政 義和	水谷 敬一			
	猪野 崇	小野 光貞	塩川 祐一	西郊 学	麦倉 素行			
	上田 征人	岸田 浩	高橋 恒男	日吉 保寿	八卷 治			
	上嶋 拓	北澄 忠雄	竹内 正喜	藤田 俊弘	吉川 純一			
	梅村 康義	近藤 明文	竹内 喜洋	藤原 靖之	吉峯 徳			
	大野 三良	今野 拓	趙 圭一	細井 宏益				
	荻野廣太郎	齊藤 昇	塚越 讓一	堀本 和志				
	長村 好章	笹尾 寿貴	露崎 輝夫	丸岡 雄二				

II 会議の事項

(1) 第80回社員総会	: 2016年6月24日	東京都	・ J Pタワー ホール&カンファレンス
(2) 理事会	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
(3) 総務委員会	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
・ 脳卒中・循環器病対策基本法ワーキンググループ	2017年1月7日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ FJCSワーキンググループ	2016年11月21日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(4) 将来構想検討委員会	: 2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年1月11日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
・ 循環器病克服5カ年計画ワーキンググループ	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年6月24日	東京都	・ J Pタワー ホール&カンファレンス
	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年9月22日	東京都	・ 東京国際フォーラム
・ 若手活性化ワーキンググループ	2017年2月6日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(5) 財務委員会・監査会	: 2016年6月2日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年8月24日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年11月18日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年3月10日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(6) 予算委員会	: 2016年11月1日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年2月27日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
(7) 編集委員会	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月19日	石川県	・ ホテル金沢
・ Circulation Reportsワーキンググループ会議	: 2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
(8) 学術委員会	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
・ 小児・成人先天性心疾患部会	: 2016年6月24日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年9月22日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年12月1日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2017年3月25日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ 心臓血管外科部会(Leadership Meeting)	: 2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
・ 心臓血管外科部会	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
・ 基礎研究部会(日本版BCVS)ワーキンググループ	2017年3月17日	石川県	・ 石川県立音楽堂
(9) ガイドライン委員会	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
(10) I T / Database委員会	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年8月17日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
・ JROAD研究利用審査小委員会	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
(11) 専門医制度委員会	: 2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ ホテル日航金沢
・ 専門医編集委員会	2016年9月9日	東京都	・ 東京国際フォーラム
・ 専門医実務委員会	: 2016年4月10日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年4月17日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
	2016年6月3日	東京都	・ 東京国際フォーラム
	2017年1月21日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局
・ 認定試験委員会	2016年9月25日	東京都	・ 東京国際フォーラム
・ 新専門医制度検討ワーキンググループ	: 2016年9月24日	東京都	・ (一社)日本循環器学会事務局

	2016年10月22日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2017年1月9日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2017年2月25日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(12) 教育研修委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
	2017年1月17日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
・循環器専門医を志す研修医のための 卒業セミナーワーキンググループ ・臨床研究デザインと統計解析合宿 ワーキンググループ	2017年2月4日	福岡県	・福岡国際会議場
(13) 学術集会運営委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
(14) 学術集会プログラム委員会	： 2016年9月24日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年11月19日	東京都	・東京国際フォーラム
(15) 国際交流委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
(16) 心臓移植委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
・心臓移植実施施設小委員会 ・心臓移植適応検討小委員会	2017年3月17日	石川県	・ガーデンホテル金沢
	2016年7月15日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年7月19日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年7月22日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(17) 健保対策委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
・内保連携ワーキンググループ	2017年1月10日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(18) 医療安全委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
(19) 倫理委員会	： 2016年5月7日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月8日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
・医療倫理委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
・研究倫理審査委員会	： 2016年9月23日	東京都	・リファレンス新有楽町ビル貸会議室
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
(20) VART論文調査委員会	2017年2月4日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(21) 医道委員会	： (開催無し)		
(22) 利益相反委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
(23) 情報広報委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
(24) チーム医療委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
・プログラム部会	： 2016年5月12日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年11月29日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(25) 男女共同参画委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム

	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
(26) 循環器救急医療・災害対策委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
・災害対策小委員会	2016年9月25日	東京都	・東京国際フォーラム
・蘇生科学小委員会	： 2016年9月24日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月17日	石川県	・ホテル金沢
・AED検討小委員会	： 2016年9月24日	東京都	・AP東京八重洲通り
	2017年3月18日	石川県	・ANAクラウンプラザ金沢
・STOP MIワーキンググループ	2016年9月24日	東京都	・東京国際フォーラム
(27) 禁煙推進委員会	： 2016年6月3日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
(28) 予防委員会	： 2016年4月30日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年6月23日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年8月11日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
	2016年10月9日	北海道	・ホテル札幌
	2017年2月5日	東京都	・(一社)日本循環器学会事務局
(29) 国内交流委員会	： 2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム
	2016年12月2日	東京都	・東京国際フォーラム
	2017年3月16日	石川県	・ホテル日航金沢
(30) 用語委員会	2016年9月9日	東京都	・東京国際フォーラム

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 第81回日本循環器学会学術集会 (JCS2017)

(1) 会期：2017年3月17日(金)～3月19日(日)
会長：山岸 正和(金沢大学循環器病態内科学)
会場：石川県立音楽堂, ANAクラウンプラザ
ホテル金沢, ヴィサージュ, ホテル日航
金沢, 金沢市アートホール, 金沢都ホテル,
ホテル金沢, 金沢フォーラス, 金沢
市教育プラザ, もてなしドーム

メインテーマ：次世代へつなぐ循環器病学
Cardiovascular Medicine for Next
Generation

- ・一般演題
(口述, ポスター, Featured Research Session)
- ・美甘レクチャー：Christine E. Seidman
(Harvard Medical School, USA)
- ・真下記念講演：澁谷 正史(上武大学)
- ・特別講演
- ・会長講演：山岸 正和(金沢大学循環器病態内
科学)

- ・プレナリーセッション
- ・シンポジウム
- ・会長特別企画

脳卒中と心臓血管疾患の遠隔医療 (JCS-
STROKE ジョイントカンファレンス)
循環器領域難治性稀少疾患の克服にむけて
若者よ！世界を目指せ：世界ナゼそこに？
日本人？

若者を心血管病から守る：金沢宣言への提言—
次世代へつなぐ日本発の循環器基礎医学研究
循環器病学の歴史を変えた人々

- 1) 心筋カルシウムハンドリングの解明と応
用：心小胞体フォスホランバンの発見
がもたらしたもの
- 2) 細胞膜の非対称性とフォスファチジルセ
リンの暴露
- 3) スタチンの発見がもたらした人類への貢
献

次世代へつなぐ日本発の循環器臨床研究
循環器病学の歴史を変えた人々

診断・治療学研究

疾患iPS細胞臨床応用の現状と展開
Excellent Case Presentation by Young Careers
in English

90分でマスターする循環器統計学boot camp：
応用編

新内科専門医制度施行を控えての循環器専門医
教育

循環器病学から見た医学教育の国際基準による
分野別認証

大規模災害と循環器病：首都直下型—南海トラ

フへの備え

How to Enhance the Intravascular Ultrasound
in Future

- ・ジョイントシンポジウム
(AHA, ACC, ESC, KSC, CSC, Asian Session)
 - ・ラウンドテーブルディスカッション
 - ・トピック
 - ・コントロバーシー
 - ・ミート・ザ・エキスパート
 - ・モーニングレクチャー
 - ・Late Breaking Clinical Trials※
 - ・Late Breaking Cohort Studies※
※セッション後にプレスインタビューを開催し
た。
 - ・第45回循環器教育セッション
 - ・日本心臓財団佐藤賞記念講演
 - ・審査講演会
YIA Clinical research部門審査講演
YIA Basic research部門審査講演
国際留学生YIA 審査講演
第7回コメディカル賞審査講演会
 - ・ガイドライン解説
 - ・第13回心臓移植セミナー
 - ・保険医療セミナー
 - ・第1回脳卒中と循環器病克服5カ年計画
シンポジウム
 - ・第7回海外留学生セミナー
 - ・第1回医療安全に関する講演会
 - ・第1回倫理に関する講演会
 - ・第16回禁煙推進セミナー
 - ・日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
 - ・第7回男女共同参画委員会セッション
 - ・Circulation Journal Award Session
 - ・チーム医療セッション
(教育講演, シンポジウム, 一般演題, コメデ
イカル賞審査講演会)
 - ・市民公開講座
～笑って健康！頭と心～認知症と心臓病
第15回心肺蘇生法合同市民公開講座
 - ・サテライトセミナー(ランチョンセミナー, フ
ァイアサイドセミナー)
 - ・機器・書籍展示
- (2) プレレジストレーション
国内の参加者向けに, 参加登録, 教育セッション,
プレセミナー・ランチョンセミナー・ファイアサ
イドセミナーのプレレジストレーションをオンラ
イン上で行った. 海外参加者向けにも参加登録を
行った.
- (3) 印刷物・製作物
第81回学術集会関連の印刷物・制作物として, プ
ログラム集, 電子抄録アプリ, 教育セッションテ
キスト, 企業展示ガイドブック, ピンバッジ, 英
文パンフレットを作成した. 循環器防災セットを

- 1000個作成し事前・当日に販売した。
- (4) My Abstracts (抄録掲載数：3,571)
抄録演題・チーム医療セッション・共催セミナー
抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録した
オリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスを
WEB版とアプリ版で行った。
- (5) トラベルグラント
海外からの演題採択者への補助として筆頭著者に
トラベルグラントを支給した。支給金額は中国、
香港、台湾、韓国は5万円、その他の国は10万円
とした。
- (6) 発表データプレエントリー
学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで
事前アップロードするための「発表データプレエ
ントリーシステム」を公開した。
- (7) 託児室
学術集会会期中に参加者に対して無料託児室を設
置した。英語対応も可能とした。
- (8) 各種サービス
救護室やAEDの設置を行った。ポスターセッシ
ョン発表者向けにオンライン上でデータが作成で
き、会場で受け取る「てぶらでポスター」を開始
した。
- (9) 学会賞
- ・第42回日本心臓財団佐藤賞
選考委員長
山岸 正和 (金沢大学循環器病態内科学)
受賞者
佐藤 公雄 (東北大学循環器内科・臨床医学
開発室)
基礎研究の臨床応用による心血管系疾患の新
規治療法開発
 - ・第34回Young Investigator's Award
Clinical research部門
選考委員長
澤 芳樹 (大阪大学心臓血管外科)
受賞者
最優秀賞：
多田 隼人 (金沢大学附属病院救急部・循環
器内科)
Impact of Clinical Signs and Genetic
Diagnosis of Familial
Hypercholesterolemia on the Prevalence
of Coronary Artery Disease in Patients
with Severe Hypercholesterolemia
優秀賞：
小鷹 悠二 (東北大学循環器内科学分野)
Plasma Concentration of Serotonin Is a
Novel Biomarker for Coronary
Microvascular Dysfunction in Patients
with Suspected Angina and
Unobstructive Coronary Arteries
優秀賞：

- 楠瀬 賢也 (徳島大学病院循環器内科)
Right Ventricular Myocardial Strain
During Preload Augmentation Is
Associated with Exercise Capacity in
Patients with Chronic Heart Failure
優秀賞：
福田 龍将 (東京大学救急部・集中治療部)
Conventional Versus Compression-Only
Versus No Bystander Cardiopulmonary
Resuscitation for Pediatric
Out-of-Hospital Cardiac Arrest
Basic research部門
選考委員長
室原 豊明 (名古屋大学循環器内科)
受賞者
最優秀賞：
山水 康平 (京都大学iPS細胞研究所増殖分
化機構研究部門幹細胞分化制御
研究分野)
In Vitro Modeling of Blood-Brain Barrier
with Human iPS Cell-Derived
Endothelial Cells, Pericytes, Neurons,
and Astrocytes via Notch Signaling
優秀賞：
菊地 順裕 (東北大学循環器内科学)
Selenoprotein P Promotes Pulmonary
Arterial Smooth Muscle Cell Proliferation
and Pulmonary Arterial Hypertension
優秀賞：
楠本 大 (慶應義塾大学循環器内科/救急科)
Primate Specific Gene, POTEE Has a
Protective Role Against Vascular Injury
in Endothelial Cells
優秀賞：
田 哲 (熊本大学分子遺伝学分野)
ANGPTL 2 Activity in Cardiac
Pathologies Accelerates Heart Failure by
Perturbing Cardiac Function and Energy
Metabolism
- ・第25回CPIS賞
選考委員長
平田 健一 (神戸大学 循環器内科学)
受賞者
高田 真吾 (北海道大学循環病態内科学講
座)
Dipeptidyl Peptidase- 4 Inhibitor Improved
Exercise Capacity and Mitochondrial
Biogenesis in Mice with Heart Failure Via
Activation of Glucagon-Like Peptide- 1
Receptor Signalling
 - ・第15回国際留学生Young Investigator's Award
選考委員長
野出 孝一 (佐賀大学循環器内科)

- 受賞者
最優秀賞：
Agian, Jeffilano Barinda (神戸大学循環器内科学)
- Vascular Senescence-Messaging Secretome Induces Premature Senescence in Adipocytes and Impairs Systemic Metabolic Homeostasis
優秀賞：
Mark Johannes Lachmann (慶應義塾大学循環器内科)
- Inflammatory Response Enhancement in Hypoxic Endothelial Cells from Pulmonary Arterial Hypertension-iPS Cells
優秀賞：
Mohammad Abdul Hai Siddique (東北大学循環器内科学)
- Identification of Emetine As a Novel Therapeutic Agent for Pulmonary Hypertension in Rats - High-Throughput Screening of 5,562 Compounds -
優秀賞：
Yogi Umbarawan (群馬大学臓器病態内科学)
- A Shift of Energy Substrates from Fatty Acid to Glucose Exacerbates Cardiac Dysfunction During Pressure Overload : A Lesson Learned from Fatty Acid Binding Protein-4 and -5 Knockout Mice
優秀賞：
Zipeng Li (京都大学心臓血管外科)
- Sequential Treatment with Sustained-Release of Basic FGF Followed by Transplantation of Human Induced Pluripotent Stem Cell-Derived Cardiac Tissue Improved Left Ventricular Function in a Rat Chronic Myocardial Infarction Model
- ・第12回心臓血管外科賞
選考委員長
横山 斉 (福島県立医科大学心臓血管外科学)
 - 受賞者
木下 武 (滋賀医科大学医学部附属病院心臓血管外科)
- Endothelial Dysfunction of Internal Thoracic Artery Graft in Patients with Chronic Kidney Disease
- ・第12回小児循環器賞
選考委員長
三谷 義英 (三重大学周産母子センター)
 - 受賞者
石田 秀和 (大阪大学小児科学)
- GFRA 2 Identifies Cardiac Progenitors and Mediates Cardiomyocyte Differentiation in a RET-Independent Signaling Pathway
- ・第11回循環器再生医科学賞
選考委員長
湊口 信也 (岐阜大学循環器内科)
基礎研究部門
受賞者
遠山 周吾 (慶應義塾大学循環器内科)
- Glutamine Oxidation Is Indispensable for Survival of Human Pluripotent Stem Cells
- ・第10回女性研究者奨励賞
選考委員長
瀧原 圭子 (大阪大学保健センター)
 - 受賞者
富 海英 (大阪大学循環器内科学)
- Chemical Endoplasmic Reticulum Chaperone Alleviates Doxorubicin-Induced Cardiac Dysfunction
- ・第6回循環器臨床研究奨励賞
選考委員長
代田 浩之 (順天堂大学循環器内科学)
 - 受賞者
臨床研究部門
辻田 賢一 (熊本大学循環器内科学)
- 抗動脈硬化脂質低下治療戦略の探索～非スタチン製剤上乘せ効果の検討～
症例報告部門
最優秀賞：
山本 恒久 (慶應義塾大学循環器内科)
- A Novel Mechanism of Atrioventricular Block Following Transcatheter Closure of an Atrial Septal Defect
優秀賞：
上田 和孝 (東京警察病院循環器内科/東京大学医学部付属病院循環器内科)
- Cystic Tumour of the Atrioventricular Node: Can an Electrophysiological Study Predict Sudden Death?
優秀賞：
鳥居 裕太 (徳島大学病院超音波センター)
- Left Ventricular Lipomatous Hamartoma Mimicking a Calcified Amorphous Tumor
- ・第4循環器イメージング賞
選考委員長
伊藤 宏 (秋田大学循環器内科学・呼吸器内科学)
 - 受賞者
最優秀賞：
谷脇 正哲 (所沢ハートセンター循環器内科)

Mechanisms of Very Late Drug-Eluting Stent Thrombosis Assessed by Optical Coherence Tomography

最優秀賞：

原 哲也（神戸大学循環器内科学分野）

Intravascular Fibrin Molecular Imaging Improves the Detection of Unhealed Stents Assessed by Optical Coherence Tomography in vivo

優秀賞：

勝俣 良紀（慶應義塾大学循環器内科）

Visualization of in vivo Metabolic Flows Reveals Accelerated Utilization of Glucose and Lactate in Penumbra of Ischemic Heart

・第7回コメディカル賞

選考委員長

山岸 正和（金沢大学循環器内科）

受賞者

検査・治療部門

最優秀賞：

倉田 直哉（関西労災病院臨床工学室）

浅大腿動脈病変に対する血管内治療後開存率にステント血管径比が与える影響

優秀賞：

安田 奈央（名古屋掖済会病院臨床工学部）

iFRとFFRにおける乖離例の特徴と心血管イベントについての検討

安田 英明（大垣市民病院診療検査科血管専門検査室）

超音波ドプラ法を用いた腎うっ血評価

奨励賞

榎本 豊（東京医科歯科大学附属病院MEセンター）

心房細動アブレーションにおける大腿静脈アプローチによる心腔内除細動の安全性と有効性の検討

片野田 梨紗（小倉記念病院）

心臓カテーテル室看護師が受ける口頭指示の現状～ビデオ分析法を用いて～

高圓 恵理（ゆみのハートクリニック）

心不全と排便の関係

看護・薬剤・リハ部門

最優秀賞

岩津 弘太郎（枚方公済病院リハビリテーション科）

心不全患者における退院時Short Physical Performance Batteryは心不全増悪による再入院の予測因子となる

優秀賞

加藤 倫卓（常葉大学健康科学部静岡理学療法学科）

術後心房細動が心臓弁膜症患者の歩行自立の遅延に与える影響

猪熊 正美（群馬県立心臓血管センターリハビリテーション課）

入院期心不全患者における年齢別の身体機能の特徴やリハビリテーションの実施による効果について

奨励賞

福井 奨悟（慶應義塾大学病院リハビリテーション科）

経カテーテル大動脈弁留置術後の生命予後に関連する因子

小林 聖典（名古屋大学リハビリテーション部）

LVAD装着周術期の上腕周囲径変化は骨格筋蛋白分解を反映する可能性がある

土岐 真路（聖マリアンナ医科大学病院薬剤部）

心不全チームラウンドによる心不全入院患者の網羅的スクリーニングに関する検討

・Circulation Journal Awards for Volume 80, 2016

選考委員長

Toyoaki Murohara

(Nagoya University Graduate school of Medicine)

受賞者

Clinical Investigation

【First Place】：

Atsushi Okada

(National Cerebral and Cardiovascular Center)

Diagnostic Value of Right Ventricular Dysfunction in Tachycardia-Induced Cardiomyopathy Using Cardiac Magnetic Resonance Imaging

(Circ J 2016; 80: 2141-2148)

【Second Place】：

Takeshi Kinoshita

(Shiga University of Medical Science)

Valve Phenotype and Risk Factors of Aortic Dilatation After Aortic Valve Replacement in Japanese Patients With Bicuspid Aortic Valve

(Circ J 2016; 80: 1356-1361)

Tsutomu Saji

(Toho University Omori Medical Center)

Efficacy and Safety of Inhaled Iloprost in Japanese Patients With Pulmonary Arterial Hypertension - Insights From the IBUKI and AIR Studies - (Circ J 2016; 80: 835-842)

Hideaki Suzuki

(Tohoku University Graduate School of Medicine)

Hippocampal Blood Flow Abnormality

Associated With Depressive Symptoms and Cognitive Impairment in Patients With Chronic Heart Failure (Circ J 2016; 80: 1773-1780)

Experimental Investigation

【First Place】:

Ruggiero Mango

(*Policlinic of Tor Vergata*)

Next Generation Sequencing and Linkage Analysis for the Molecular Diagnosis of a Novel Overlapping Syndrome Characterized by Hypertrophic Cardiomyopathy and Typical Electrical Instability of Brugada Syndrome

(Circ J 2016; 80: 938-949)

【Second Place】:

Shotaro Saito

(*Oita University*)

Glucose Fluctuations Aggravate Cardiac Susceptibility to Ischemia/ Reperfusion Injury by Modulating MicroRNAs Expression

(Circ J 2016; 80: 186-195)

Asian Award

Deri Hwang

(*Kyung Hee University*)

Calcium-Channel Blockers and Dementia Risk in Older Adults - National Health Insurance Service - Senior Cohort (2002-2013) -

(Circ J 2016; 80: 2336-2342)

• Best Reviewers Award for 2016

Osamu Tsukamoto

(*Osaka University Graduate School of Medicine*)

Hiroshi Asanuma

(*Meiji University of Integrative Medicine*)

Shoji Sanada

(*Osaka University Graduate School of Medicine*)

Junya Ako

(*Kitasato University School of Medicine*)

Yoshihiro Seo

(*University of Tsukuba*)

Koichiro Kinugawa

(*University of Toyama*)

Shinichi Niwano

(*Kitasato University*)

Kyung-Duk Min

(*National Cerebral and Cardiovascular Center*)

Kazuhiro Yamamoto

(*Tottori University*)

Teiichi Yamane

(*Jikei University School of Medicine*)

Tetsuya Matoba

(*Kyushu University Hospital*)

Hideki Ishii

(*Nagoya University Graduate School of Medicine*)

Yoshihiro Fukumoto

(*Kurume University School of Medicine*)

Takashi Kurita

(*Kindai University*)

Hiroyuki Morita

(*The University of Tokyo*)

Masaharu Ishihara

(*Hyogo College of Medicine*)

Hiroshi Tada

(*University of Fukui Hospital*)

Kazufumi Nakamura

(*Okayama University*)

Naohiko Takahashi

(*Oita University*)

Toru Maruyama

(*Kyushu University*)

• 日本心臓財団・日本循環器学会2016年「心臓」賞

選考委員長

山口 徹 (虎の門病院)

最優秀賞:

松村 憲太郎 (香川井下病院循環器内科)

高尿酸血症における血管内皮機能障害と高ホモシステイン血症との関連性

(心臓48巻11号1256-1265)

優秀賞:

川瀬 共治 (土谷総合病院循環器内科)

急性冠症候群患者における短期予後予測因子としての乳酸値クリアランスの有用性に関して

(心臓48巻5号513-521)

優秀賞:

中島 孝 (岐阜大学循環病態学)

Carney複合の一家系

(心臓48巻7号774-780)

2. 日本循環器学会地方会

(1) 第115回北海道地方会

会期: 2016年6月25日 (土)

会場: 北海道大学学術交流会館 (札幌市)

会長: 筒井裕之 (北海道大学循環病態内科学分野)

参加人数: 317名

発表演題: 31題

(2) 第116回北海道地方会

会期: 2016年11月26日 (土)

会場: 北海道大学学術交流会館 (札幌市)

- 会長：紙谷寛之（旭川医科大学心臓大血管外科学分野）
参加人数：284名
発表演題：45題
- (3) 第162回東北地方会
会期：2016年6月4日（土）
会場：アイーナ（いわて県民情報交流センター）（盛岡市）
会長：富田泰史（弘前大学循環呼吸腎臓内科学講座）
参加人数：287名
発表演題：77題
- (4) 第163回東北地方会
会期：2016年12月3日（土）
会場：仙台国際センター（仙台市）
会長：下川宏明（東北大学循環器内科学）
参加人数：342名
発表演題：93題
- (5) 第240回関東甲信越地方会
会期：2016年6月4日（土）
会場：ステーションコンファレンス東京（千代田区）
会長：池ノ内 浩（日本赤十字社医療センター循環器内科）
参加人数：1006名
発表演題：120題
- (6) 第241回関東甲信越地方会
会期：2016年9月17日（土）
会場：ステーションコンファレンス東京（千代田区）
会長：阿古潤哉（北里大学循環器内科）
参加人数：880名
発表演題：110題
- (7) 第242回関東甲信越地方会
会期：2016年12月3日（土）
会場：ステーションコンファレンス東京（千代田区）
会長：高橋政夫（平塚共済病院 心臓血管外科）
参加人数：1011名
発表演題：115題
- (8) 第243回関東甲信越地方会
会期：2017年2月4日（土）
会場：ステーションコンファレンス東京（千代田区）
会長：野上昭彦（筑波大学循環器内科）
参加人数：948名
発表演題：132題
- (9) 第147回東海地方会
会期：2016年6月11日（土）
会場：アクトシティ浜松コンgresセンター（浜松市）
会長：林 秀晴（浜松医科大学第三内科）
参加人数：470名
発表演題：121題
- (10) 第132回北陸地方会
会期：2016年6月26日（日）
会場：金沢医科大学病院（河北群内灘町）
会長：北山道彦（金沢医科大学心臓カテーテル科）
参加人数：255名
発表演題：50題
- (11) 第148回東海・第133回北陸合同地方会
会期：2016年11月5日（土）・6日（日）
会場：石川県地場産業振興センター（金沢市）
会長：埜田 浩（福井大学循環器内科）
参加人数：473名
発表演題：200題
- (12) 第121回近畿地方会
会期：2016年7月16日（土）
会場：国立京都国際会館（京都市）
会長：夜久 均（京都府立医科大学心臓血管・小児心臓血管外科学部門）
参加人数：1008名
発表演題：223題
- (13) 第122回近畿地方会
会期：2016年11月26日（土）
会場：ナレッジキャピタルコングレコンベンションセンター（大阪市）
会長：塩島一朗（関西医科大学内科学第二講座）
参加人数：1429名
発表演題：284題
- (14) 第109回中国地方会
会期：2016年12月3日（土）
会場：川崎医療福祉大学（倉敷市）
会長：上村史朗（川崎医科大学循環器内科学）
参加人数：445名
発表演題：130題
- (15) 第109回四国地方会
会期：2016年12月3日（土）
会場：松山市総合コミュニティセンター（松山市）
会長：岩田 猛（愛媛医療センター循環器内科）
参加人数：328名
発表演題：97題
- (16) 第108回中国・四国合同地方会
会期：2016年6月10日（金）・11日（土）
会場：くにびきメッセ（松江市）
会長：中澤芳夫（島根県済生会江津総合病院）
参加人数：540名
発表演題：186題
- (17) 第120回九州地方会
会期：2016年6月25日（土）
会場：ホルトホール大分（大分市）

会長：小野克重(大分大学病態生理学講座)
参加人数：319名
発表演題：115題
(18) 第121回九州地方会
会期：2016年12月3日(土)
会場：鹿児島市民文化ホール(鹿児島市)
会長：井本 浩(鹿児島大学心臓血管・消化
外科学)
参加人数：365名
発表演題：163題

②学会学術誌、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal刊行

- (1) Circ. J. Vol.80 2016年は12冊2,624頁、平均発行部数約17,194部、原著投稿論文を含む297件2,561頁(98%)、その他63頁(2%)を掲載した。
- (2) 2016年の投稿論文は、受付1,355件(内有効論文1,333件)、内2017年5月10日現在までの採用は269件、不採用837件、採択率は24%であった。査読にはEditorial Boardを含め843名(12号掲載)がその任務にあたった。
- (3) 2017年の投稿論文は、2017年5月10日現在までの受付503件(内有効論文491件)であった。

2. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえ検討した。日本小児循環器学会から依頼のあった「奇形」という用語の置き換え案に関する確認依頼について回答を行った。また、WHO・厚生労働省から依頼を受けているICD-11作成作業について委員派遣を行った。

3. 会告刊行

会告2016 No.3～No.5, 2017 No.1を発行した。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」を運営した。

5. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信した。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査(JROAD)

全国の循環器科・心臓外科を標榜する2,537施設に調査依頼を行い、Web登録システムを用いて調査を行い、1,573施設から回答を得た。調査対象期間は2015年1月～12月の1年間で、循環器研修施設および循環器関連施設から100%の回答を得ることができた。

2. DPCデータを用いた心疾患における医療の質に関する事業(JROAD-DPC)

JROAD参加施設の中から1,142施設を抽出し、DPC情報提供に関する参加意向を募り、DPC情報の提供に同意した739施設よりデータ収集を行った。

3. JROADデータ利用研究公募

「日本の循環器病疾患医療の質の向上に資する研究」を目的として、JROADデータを利用した研究公募を行い、審査の結果14研究を採択した。

4. 学術研究班

- (1) 血管炎症候群の診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：磯部 光章)
- (2) 成人先天性心疾患診療ガイドライン(2017年改訂版)(班長：市田 路子)
- (3) 遺伝性不整脈の診療に関するガイドライン(2018年度版)(班長：青沼 和隆)
- (4) 感染性心内膜炎の予防と治療に関するガイドライン(2018年改訂版)(班長：中谷 敏)
- (5) 急性・慢性心不全診療ガイドライン(2018年改訂版)(班長：筒井 裕之)
- (6) 心疾患患者の妊娠・出産の適応、管理に関するガイドライン(2018年改訂版)(班長：赤木 禎治/池田 智明)
- (7) 肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の診断、治療、予防に関するガイドライン(2018年改訂版)(班長：伊藤 正明)
- (8) 肺高血圧症治療ガイドライン(2018年改訂版)(班長：福田 恵一)

5. ガイドライン作成

2014-2015年度活動の「学校心臓検診のガイドライン」(日本循環器学会、日本小児循環器学会合同ガイドライン)(班長：住友 直方)、「心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン」(班長：寺崎 文生)、「心臓移植に関する提言」(班長：磯部 光章)を冊子体とホームページ上で公開した。

6. ガイドライン作成と公開

第81回学術集会時に3つの「ガイドライン解説」セッションを開催した。

「ガイドライン解説」

- (1) 学校心臓検診のガイドライン(日本循環器学会・日本小児循環器学会合同ガイドライン)(班長：住友 直方)
- (2) 心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン(班長：寺崎 文生)
- (3) 心臓移植に関する提言(班長：磯部 光章)

7. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち、次の2件を英訳化し、CJ誌に公表、ホームページ上で公開した。

- (1) 非心臓手術における合併心疾患の評価と管理に関するガイドライン（2014年改訂版）
（班長：許 俊鋭）
- (2) 循環器薬の薬物血中濃度モニタリングに関するガイドライン
（班長：青沼 和隆/志賀 剛）

8. Translational Research振興事業

2014年度および2015年度採択されたTranslational Research振興事業について、研究支援助成を行った。2014年度採択の2件については、第81回学術集会時に最終報告会を開催した。

・2014年度採択：2件

- (1) 「心房細動の発症・重症化予測アルゴリズムの構築と個別化医療」
古川 哲史（東京医科歯科大学難治疾患研究所・生体情報薬理学）
- (2) 「心筋病理細胞核クロマチンスコアを用いた重症心不全可塑性臨床診断指標の開発と実用化」
坂田 泰史（大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学）

・2015年度採択：1件

- (1) 「ナチュラルキラーT細胞活性化による新たな重症心不全治療の実用化」
筒井 裕之（北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学）

9. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- (1) 急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査
（J-MINUET：主査 石原 正治）
- (2) 周産期（産褥）心筋症の発症に関する登録研究
（PREACHER：主査 池田 智明）

10. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会が主導して行う心原性ショックに関するレジストリは、2014年6月に新規登録を締切り、レジストリ参加施設から組成した解析班において解析作業を行い、AHAおよび第81回学術集会において発表を行った。引き続き解析を行う。

11. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に以下1件の留学支援助成を行った。

南澤 匡俊（信州大学循環器内科）

老人性全身性アミロイドーシスの予後予測指標としての左房・右心機能の役割

12. 国内交流事業

- (1) 第81回学術集会において、日本心エコー図学会、心筋生検研究会からのジョイントセッション申し入れ要望を受理した。また、継続開催として、日本集中治療医学会、日本成人先天性心疾患学会、日本心臓核医学会、日本機械学会とのジョイントセッションを開催した。
- (2) 諸学会主催の学術集会または準ずる講演会において、ジョイントセッションを開催した。
- (3) ICD-CRT研修制度協議会において、研修シラバスの改訂、ならびに諸問題の対応を協議した。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

- (1) 海外学会（OCC・ESC・AHA）へブース出展を行った。
- (2) 3名（Christine E. Seidman (USA), Mark A. Creager (USA), Fausto J. Pinto (Portugal)）の新規国際名誉会員の選定を行った。
- (3) 第81回学術集会開催時にAHA, ACC, CSC, KSC, ESCとの共同シンポジウム（Meet the ESC12）、アジアセッションを企画し、開催した。
- (4) APSC (Asian Pacific Society of Cardiology) へ、正式に再入会を果たした。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 循環器専門医事業

- (1) 循環器専門医認定のための第27回循環器専門医試験を2016年8月21日（日）東京国際フォーラム（東京）、梅田スカイビル（大阪）の2会場で実施した。認定者は530名（2017年4月1日認定）。
 - (2) 2017年4月1日に循環器専門医資格を更新予定の循環器専門医2,047名の更新（2017年4月1日更新）が承認された。
 - (3) 循環器専門医を目指す会員の臨床研修のための研修施設・研修関連施設の指定および指定更新審査を行った。新たに研修30施設、研修関連27施設を指定し、更新は研修383施設、研修関連128施設を指定した。
 - (4) 専門医編集委員会から、『循環器専門医』Vol.24 No.2, Vol.25 No.1 を出版した。Vol.24No.2 は特集「第80回日本循環器学会学術集会」、Vol.25 No.1 は特集I「基礎科学の進歩」特集II「第80回日本循環器学会学術集会」
- ※(2)の更新者に関しては、2017年3月開催の第81回学術集会が更新対象単位となっているため一部審査中となり2017年3月16日現在を記載しています

ことをご了承ください。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第12回循環器専門医を志す研修医のための卒業セミナーの企画・開催

2016年7月3日(日)千里ライフサイエンスセンターにて、主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー、ディベート、グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催した。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として「第44回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行った。

3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に寄与することを目的として教育研修e-ラーニングコンテンツの拡充ならびにメンテナンスを行った。

4. 第2回臨床研究デザインと統計解析合宿の企画・開催

2016年11月10日(木)～12日(土)軽井沢にて、会員を対象とした2泊3日の研修合宿を開催した。研修では講義の他、グループワークや研究成果の報告等も行われた。

5. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催した。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース
- (2) AHA ACLSプロバイダーコース
- (3) AHA ACLS-EPプロバイダーコース
- (4) AHAハートセイバーAEDコース

インストラクター養成のため次の各講習会を開催した。

- (1) AHA コアインストラクターコース
- (2) AHA BLSインストラクターコース
- (3) AHA ACLSインストラクターコース
- (4) AHAハートセイバーインストラクターコース
- (5) AHA ACLS-EPインストラクターコース

BLSヘルスケアプロバイダーコースについて、蘇生ガイドライン2015に対応するコース開催を行う為、インストラクター向けの勉強会を各地で開催した。コース運営における検討/議論として、AHA担当者との会合をニューオリンズ(USA)及び金沢にて開催した。

6. コメディカルセミナーの開催

循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を

目的として、第11回・第12回のコメディカルセミナーを「明日から役に立つ知識をあなたに～チーム医療に必要な心不全の基礎知識～」をテーマとして開催した。

- (1) 第11回コメディカルセミナー
日時：2016年7月31日(日)10:00-17:00
会場：東京国際フォーラム(千代田区)
- (2) 第12回コメディカルセミナー
日時：2016年8月21日(日)10:00-17:00
会場：大阪国際会議場(大阪市)

7. 男女共同参画に関する事業

- (1) 第9回男女共同参画委員会セミナー「男女必見、これからのライフスタイルを斬る！」を2016年6月10日に第108回中国・四国合同地方会(くびきメッセ)で開催した。
- (2) 第10回男女共同参画委員会セミナー「202030」を2017年2月4日に第243回関東甲信越地方会(ステーションコンファレンス東京)で開催した。
- (3) Travel Award for Women Cardiologists (JCS / TAWC)の設立
循環器学会女性会員のキャリア支援を目的として国際学会において女性筆頭者が発表する優秀演題を顕彰した。

第1回(AHA 2016 New Orleans)

Nardilysin is a Promising Biomarker for the Early Diagnosis of Acute Coronary Syndrome

大野 美紀子(京都大学 循環器内科学)

H3k9me3 Depletion Induces Cardiomyocyte Proliferation and Extends the Heart Regeneration Window in Mice

梶本 英美(ワシントン大学/久留米大学 循環器内科)

- (4) 学術集会一般演題における女性座長について、第81回では12.7%となった。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植等に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出した。
- (2) 心臓移植の適応について、新規申請、再申請の検討を行った。
- (3) 第81回学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、心臓代替療法の現状と今後の展望について心臓移植セミナーを行った。
- (4) 心臓移植について一般市民に理解を深めてもらうため2016年7月30日に市民公開講座を開催した。
- (5) 日本の心臓移植の状況を世界に発信していくた

め、Circulation Journalにアニュアルレポートを投稿した。

- (6) 心臓移植実施施設認定について名古屋大学医学部附属病院から申請があり、心臓移植・心肺同時移植関連学会協議会において審議の結果認定された。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを以下のテーマで12回開催した。(2015年度からの継続事業)

- 第18回 肺血栓塞栓症
- 第19回 重症心不全治療の現状と課題
- 第20回 循環器画像診断の進歩
- 第21回 ここまで来た人工心臓
- 第22回 学校における小児突然死について
- 第23回 心臓を守る食事：魚の効用
- 第24回 心臓病を予防する運動
- 臨時 心血管病・老化とオートファジー
- 第25回 糖尿病は心臓病のサイレントキラー
- 第26回 震災とエコノミークラス症候群
- 第27回 高血圧と心臓病：なぜ降圧薬を飲む必要があるか
- 第28回 心房細動の外科治療 心臓血管外科手術の取り組み

新聞への掲載、雑誌にて連載された。

2. 学術集会プレスカンファレンス・広報ブース展示

第81回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、東京でプレスカンファレンスを開催した。

また、学術集会において学会事業の展示・広報を行った。

3. 禁煙ガイドブックの販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイドPassport to Stop Smoking」の販売を行った。

4. 禁煙相談ブースの出展

市民向けイベントにブース出展を行い、禁煙相談会を行った。

5. 禁煙他団体との連携

(一社)禁煙推進学術ネットワークの事務局業務を受託し、対応した。

6. 心肺蘇生法市民公開講座

第81回学術集会期間中に、心肺蘇生法市民公開講座を開催した。

7. ファミリー&フレンズコースの開催

心肺蘇生法に関する事業ファミリー&フレンズコ

ース(市民向け講習会)を計17回開催した。

8. 学会ホームページの運営

学会員・一般市民に役立つ情報を学会ホームページに掲載した。

9. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行った。

10. 医療安全に関する事業

医師推薦依頼および医療事故調査制度に対応した。

11. 倫理に関する事業

論文不正などの問題について対応を検討した。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 循環器病克服5カ年計画事業

本会と日本脳卒中学会が中心となり関連19学会と合同で「脳卒中と循環器病克服5カ年計画」を策定し、2016年12月16日でのプレスリリース及び第81回学術集會会期中実施の循環器病克服5カ年計画シンポジウムで周知を行った。本計画は、5年間で脳卒中・心血管病による死亡率の5%減少および健康寿命の延伸を目標に、脳卒中・心不全・血管病を重要3疾病と定め、目標達成に向け「人材育成」「医療体制の充実」「登録事業の促進」「予防・国民啓発の促進」「基礎研究の強化」の5戦略を掲げたものである。今後、担当委員会で5戦略として実施する事業の検討を行い、計画を実行していくこととなる。

2. 新会員管理システム構築の検討

新専門医制度や現システムの課題に対応した新会員管理システム構築の検討が行われた。

Circulation Journal Vol. 80刊行状況(編集委員会)

	論文数	頁数	その他頁数	頁数計
No. 1	30	284	0	284
2	30	260	0	260
3	25	233	1	234
4	30	275	1	276
5	25	214	0	214
6	25	222	0	222
7	20	169	1	170
8	25	218	0	218
9	23	181	1	182
10	24	195	1	196
11	20	158	0	158
12	20	152	58	210
計	297	2561	63	2624

『循環器専門医』刊行状況(専門医制度委員会)

	本文頁数	専門医News頁数	頁数計
Vol. 24 No.2	217	17	234
Vol. 25 No.1	127	15	142
計	344	32	376

『循環器ガイドラインシリーズ 2016年版』刊行状況(ガイドライン委員会)

	オリジナル版頁数	ダイジェスト版頁数	頁数計
学校心臓検診のガイドライン	80	68	148
心臓サルコイドーシスの診療ガイドライン	75	62	137
心臓移植に関する提言	87	61	148
計	242	191	433

2016年度事業報告 附属明細書

2016年度事業報告においては、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

以上